

2018年度

愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程アジア防災学特別コース学生募集要項

アドミッションポリシー

アジア防災学特別コースは、アジア圏の自然災害の特性と防災対策に関する高度な知識と先端的な研究能力を持つ研究者・技術者の育成を教育研究の目標にしています。そのため、次のような資質・素養を持った人を求めています。

- アジア圏の自然災害学に関する専門基礎知識を有している人
- アジア圏の防災に関して強い意欲を持つ人
- 技術者・研究者としての教養を高め、人類の幸福や社会に貢献しようとする意欲のある人
- 科学技術的な表現力やコミュニケーション能力を高める意欲のある人

1. 募集人員 2人

2. 選抜方法

(1)出願期間、入学者選抜試験日及び出願書類等提出先

出願期間	2018年(平成30年)4月9日(月)～4月20日(金), EMS便にて必着のこと
入学者選抜試験日	2018年(平成30年)5月2日(水)～5月16日(水)の間に実施
試験会場	愛媛大学, その他の場合は, 会場・方法について連絡します。
合格者発表	2018年(平成30年)6月5日(火)
入学手続締切	2018年(平成30年)6月22日(金) 期日厳守
出願書類等提出先	愛媛大学教育学生支援部教育支援課工学部チーム 〒790-8577 松山市文京町3番

(2)出願資格

日本国以外の東南・南アジア及びアフリカ圏の国の国籍を有し、愛媛大学の協定校を卒業、または卒業見込みの者で、次のいずれかの条件を満たしているものとします。

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、または2018年(平成30年)9月までに修了見込みの者
- ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学大学院が認めた者

(注) 本学大学院に入学を志望する者で、上記の②に該当するものは、2018年(平成30年)3月1日(木)までに、あらかじめ本研究科に申し出てください。なお、以下の書類を期限までに提出してください。

《「出願資格②」に該当する者の事前の入学資格審査》

出願資格②で、本研究科へ出願しようとする者は、下記の書類を提出期限までに提出してください。

i) 提出書類等

- A) 入学資格審査調書<本研究科所定の用紙>
- B) 入学資格審査志望理由書<本研究科所定の用紙>
- C) 最終学校の卒業証明書又は修了証明書
- D) 審査の参考となる資料(論文、特許等)

ii) 提出期限

2018年3月8日(木)までに提出してください。(EMS便で必着のこと。)

iii) 提出及び問い合わせ先

愛媛大学教育学生支援部 教育支援課工学部チーム

iv) 入学資格審査

提出された書類によって「入学資格」の審査を行い、その結果を**2018年4月6日(金)**までに本人へ通知します。

なお、入学資格審査に提出された書類は返還しないので、認定された者は、2.(4)の出願書類を別途提出してください。

また、入学資格審査結果は、本募集要項に基づいて実施する「2018年度愛媛大学大学院理工学研究科博士前期課程アジア防災学特別コース入学者選抜試験」に限ります。

(3)選抜方法

書類審査と面接を行い、合否判定基準に基づき判定します。

(4)出願書類等

- A 入学志願票(写真票, 受験票)(本研究科所定の用紙)
- B 成績証明書[出身大学(学部)長等が作成し, 厳封したもの]
- C 卒業証明書または卒業見込証明書
- D 推薦書[出身大学(学部)長等が作成し, 厳封したもの]
- E 誓約書(2018年(平成30年)9月23日(日)までに来日する旨の確約書)(本研究科所定の用紙)
- F 研究計画書(一分野以上の研究計画を作成する場合, 希望分野と指導教員の名前を記入し希望順位をつけそれぞれを提出する。担当教員の名前は3ページを参照。)
- G パスポートのコピー(パスポートが出願時に間に合わない場合は, 面接試験日までに提出すること)

(5)配点, 採点・評価基準, 合否判定基準

①配点

書類審査(成績証明書, 推薦書, 研究計画書など): A, B, C 評価

面接(口頭試問含む): 100点

③採点・評価基準

書類審査: 専門的学力, 作文力などをみます。

面接(口頭試問含む): 基礎学力, 目的意識, 勉学意欲, 自己表現力をみます。

③合否判定基準

書類審査及び面接の結果を総合して合否を判定します。

ただし, 次のいずれかに該当する場合は不合格とします。

書類審査: 評価がB, Cの場合

面接(口頭試問を含む): 得点が60点未満の場合

3. 入学手続等

(1)入学手続に必要なもの

①入学科・・・282,000円(入学科の額は, 2017年(平成29年)度納付額であり, 2018年(平成30年)度は改定になる場合があります。)

②本研究科所定の入学手続書類

③その他の経費として3,000～5,000円の経費が必要です。

(備考: 別に定める規程により入学者のうち特別留学生として入学を認められた者(2名まで)については, 入学科と授業料を免除します。また, 渡航費として最短距離の運賃を支給します。)

(2)入学の時期

入学式を2018年(平成30年)9月21日に行う予定です。詳細は合格者に別途お知らせします。

### (3)授業料について

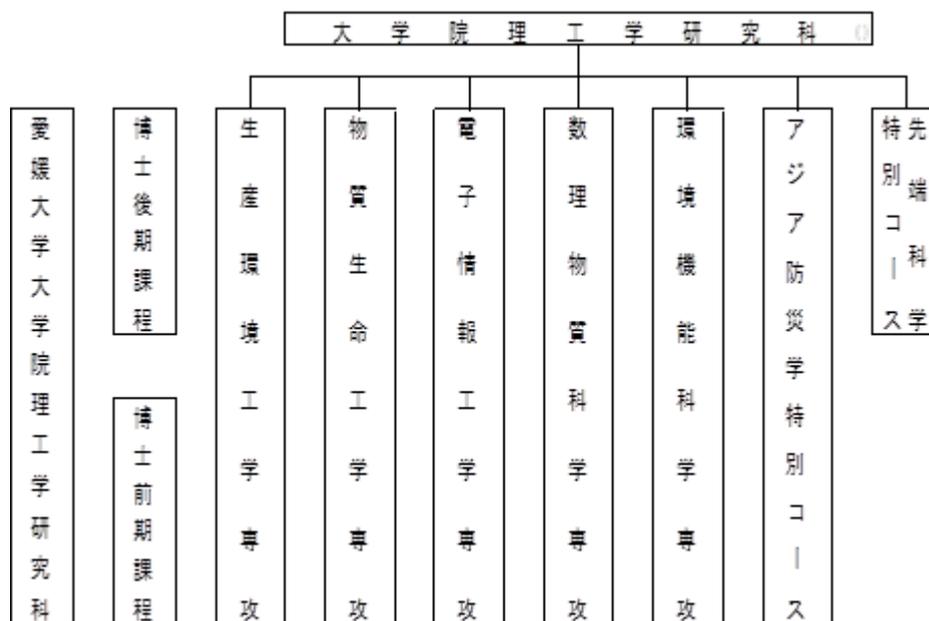
年額 535,800 円 (前期分, 後期分 各 267,900 円) (授業料の額は, 2017 年(平成 29 年)度納付額であり, 2018 年(平成 30 年)度は改定になる場合があります。)

※在学中に授業料改定が行われた場合には新授業料を適用します

## 4. 理工学研究科の概要

### (1)研究科の組織

理工学研究科は, 下図のように構成されています。理工学研究科の博士課程には, 博士前期課程と博士後期課程が設置されています。



### (2)アジア防災学特別コースの概要及び担当教員

21 世紀は自然災害の世紀とも言われています。世界の中でも, アジアは自然災害の多発地であり, 毎年のように多くの犠牲者が出ています。そのため自然災害の発生機構を解明し, 減災のための各種対応をはかることは急務の課題です。そこで, 本コースでは, 地震災害や気象災害などの発生機構, 減災のための対策, 防災マネジメント, 防災情報などについて学びます。

担当教員と専門を以下に示します。

- 氏家 勲 (教授, コンクリート工学)
- 岡村 未対 (教授, 地盤防災工学)
- 小林 真也 (教授, 分散処理システム)
- 森 伸一郎 (准教授, 地震工学)
- 安原 英明 (教授, 岩盤工学)
- 森脇 亮 (教授, 水環境工学)
- 中原 真也 (教授, 燃焼工学)
- 野村 信福 (教授, 統計熱力学)
- 黄木 景二 (教授, 材料強度学)
- 柴田 論 (教授, 制御理論)
- 日向 博文 (教授, 沿岸海洋工学)
- 補ラ プラシュ バンダリ (准教授, 地盤工学)